

上尾市市民活動支援センター情報誌



むすびん

平成28年
1月
第19号

〒362-0075 上尾市柏座1丁目1番15号

TEL:048-778-1810 FAX:048-778-1820 E-mail:s53500@city.ageo.lg.jp

公開講座「市民活動ステップアップ講座」を開催しました

10月17日（土）上尾市文化センターで、公開講座「市民活動団体のためのステップアップ講座」を開催しました。熱い思いを持って始めた市民活動も、年数を重ねていくうちに、会員の高齢化や資金調達の難しさなど運営上の様々な問題に直面している団体も多いのではないのでしょうか。今年の公開講座は、現在市民活動をしている約40人の方々が参加して、改めて自分たちの活動を見直し、組織の基盤強化につながるステップアップの方法を学びました。

第1部は、武蔵大学社会学部メディア社会学科教授 粉川一郎さんが、「あなたの団体、地域の中でどう見られていますか」と題した講演を行いました。粉川さんは、会員の情熱と資金だけに支えられている市民活動団体を、『おろし金の上ののった大根』に例え、エネルギーを消耗するだけで供給がない状態に危機感を訴え、外からの支援ネットワークが必要と話しました。また、「地域で必要とされる団体」になるためには組織基盤と広報を強化し、地域や社会に向けて自分たちの活動の価値をしっかりと発信し、共感を得て支援者を増やしていくことが大切と語りました。



【第1部講師：粉川一郎さん】

第2部は、聖学院大学非常勤講師 川田虎男さんの「事業計画と予算の立て方」と題した講演。「事業計画」や「予算書」は、補助金や助成金を申請する際

に必要となる書類ですが、市民活動を継続していく上で団体の方向性がぶれないように、より多くの人に活動を理解してもらうためにも「事業計画」は必要です。川田さんは、事業計画について、「自分達の団体がこうありたいと望む3年後の姿」-「現在の姿」=「今後取り組むべき課題」と表し、「課題をクリアするためには来年度は何に取り組んでいくか」ということが「来年度の事業計画」になると説明しました。



【第2部講師：川田虎男さん】

後半のワークショップでは、グループに分かれ、それぞれの団体の目標を実現するための事業計画作成のシミュレーションを体験しました。各グループとも活発にアイデアが出て、参加者からは、「講座を受講して、団体のステップアップのヒントをいただき、実り多き一日になった」と感想が寄せられました。

★平成27年度 協働のまちづくり推進事業の報告★

■第13回 上尾街角美術館■

～上尾市美術家協会～

10月13日から11月3日まで第13回「上尾街角美術館」が開催されました。上尾市美術家協会（代表：町田譽曾彦さん）が主催し、上尾商工会議所と連携して毎年開催を続けてきた街角美術館ですが、今年度は市との協働事業として、環境経済部商工課が連携の輪に加わりました。

上尾駅周辺の31の店舗、事業所に協力を得て、ショーウィンドーや展示スペースに作品（絵画、工芸、書、写真）を展示。市民の皆さんに商店街を散策しながら芸術に親しんでもらい、まちの賑わいづくりに貢献することを目指しています。「美術館MAP」を手に“秋の美術散歩”を楽しんだ方も多かったのではないのでしょうか。



【ふわふわ子宮体験のコーナー】

■いっしょにお産、たのしく育児■

～埼玉県助産師会上尾地区会～

子育て世代が妊娠・出産・育児を笑顔で過ごせるように、一般社団法人 埼玉県助産師会上尾地区会（代表：天野純代さん）が、健康福祉部健康増進課と協働で、イベント「いっしょにお産、たのしく育児」を11月1日に児童館こどもの城で開催しました。

当日は、「ベビーマッサージ」、「産後教室」などの講座や「妊娠・子育て何でも相談」、「ふわふわ子宮体験」、「親子ピクス」、「パパと一緒にパチリ」など体験コーナーもあり、終日、親子連れで賑わいました。

●ボランティアフェスティバルに参加しました！●

上尾市社会福祉協議会主催の第7回ボランティアフェスティバルが12月12日、コミュニティセンターで開催されました。今年からは、ボランティアセンターに登録している市内のすべてのボランティア団体、福祉施設、関連団体、事業所が参加し、従来のお祭りのイベントからボランティア活動に関する啓発的傾向の強い集いへシフトしたいと、展示方法も一新されました。市民活動支援センターは、事業紹介のパネルを展示しました。



市民活動団体紹介



DMFRT (ディムフォート)

設立 平成27年2月
会員 3人
代表 岡田 耕さん
連絡先 048-777-7333(あおぞら接骨院)

災害救助チームDMFRT(ディムフォート)代表の岡田耕さんは、柔道整復師(接骨院・整骨院の先生)の仲間に呼びかけ、東日本大震災のような自然災害の現場で、救助活動をするチームを昨年2月に立ち上げました。

平成23年の東日本大震災の時、同業者を集め、宮城県の石巻や福島県の大玉村に支援に訪れましたが、混乱する現場の受入れ体制の問題等で現地入り出来たのは震災の1ヶ月後。もっと早い段階で現地入りできていれば、より専門的な技術支援ができたかもしれないという思いが残りました。

日頃から、行政や医療機関、赤十字社などと連携

できる準備や、すぐに動ける体制づくりを目指して活動を進め、その一環として、平成27年には2回、応急処置法の市民講座を開きました。病院も救急車もあてにできない災害時に、身の回りにあるもので自分で出来る応急処置法を柔道整復師(骨折・脱臼・ねんざなど出血のないケガを治すプロ)が説明しました。

「ReVA復興ボランティアチーム・上尾とも協力し合い、上尾の“もしも”に備えられるような活動を進めていきたい」と岡田さんは語りました。



【“応急処置法を学ぼう”講座の様子】

だれでも気軽に参加できる

上尾駅前市民塾



大胆予告!

「新年度から市民塾はどう変わる!」

平成24年から、市民活動につながる小さな学びの場として開設された上尾駅前市民塾は、多くの市民に親しまれてきました。市民塾は、上尾地区ビジネスキャリア・エンジョイサークル(アブセック)、上尾市まなびすと指導者バンク活動推進会議、ふるさと交友会そして地域活動推進の会(TKS)の4団体が運営委員会をつくって運営にあたってきました。これらの団体は、それぞれ経験豊富なメンバーを擁し、それぞれのネットワークが市民塾の講座内容に反映されていました。

4団体のうち最も新しいTKSはメンバーが他の3団体と兼ねている方も多く、運営委員会活動のほかに自主研修会や視察などを積み重ねることで、団体としても会員を増やしながら大きく成長しました。平成27年度のTKS総会で、平成28年度から市民塾の運営主体となることが決定した後、講座計画を詰めたり、市民活動支援センターとの協働事業としての役割分担などの協議を進めたりと積極的に取り組んできました。

新年度からは「上尾駅前市民塾」の名称も「あげお市民塾」に改め、市民活動支援センター会議室をベースにTKSらしさを前面に押し出して講座を提供していくこととなりました。支援センターが受講申し込み

の窓口となるなど従来通りの親しみやすさも継続しながら、内容面でテーマに沿った講座の構成や講師の選定など、より訴える主題を打ち出すことで、市民活動の活性化や交流促進につなげたいと同会の平井信夫会長は抱負を語っています。詳しくは広報あげお3月号で、乞うご期待!





ポイント解説 Q&A

Q. 平成28年度版協働のまちづくり推進事業は
早めの対応を！
協働のまちづくり推進事業を提案したい！
ヒントは？…その2

A. 協働のまちづくり推進事業は、例年4月に募集を始めていましたが、各団体とも年度切り替えの時期に事業を提案することから、内容の確定が遅れる傾向にあります。また、市担当課も年度当初は各団体との摺合せ対応が難しくなる時期でもあります。

そこで、今回は各団体への募集説明会を2月13日に開催する予定です。市の提案・テーマについても時期を早めて各課で検討中です。1月末には市の協働事業の提案・テーマが決まります。市の補助を受けて協働で進める「まちづくり推進事業」は今からご検討をお願いします。

「事業展開の発想や市民活動のミッションは、総合計画にあり！」と前号でご案内しましたが、いよいよ、第5次総合計画後期計画が固まってきました。後期基本計画では、従前の7つの基本的課題のほかに、新たに「総合的に取り組む4つの重点テーマ」が設定されました。この中に事業提案のヒントが隠されています。

重点テーマの詳細はこちら⇒
(P16～17)



イベント ボランティア掲示板

■ ■ ちよつとだけ体験ひろば ■ ■
ご家族で参加してみませんか！

華道、将棋、革工芸など、さまざまなジャンルの講師によるミニ講座が体験できます。ステージ発表や作品展示もあり、気軽に立ち寄ってみませんか。(無料：自由参加)

日時：平成28年2月21日(日)
午前10時～午後5時

場所：上尾ショーサンプラザ
(イトーヨーカドー 上尾駅前店 1階)

主催：上尾市まなびすと指導者バンク
活動推進会議

問合せ：渋谷さん TEL 048-725-5648

■ ■ 上州雪かき道場 参加者募集！ ■ ■
群馬県片品村 関東初開催 初級コース

<http://katashina.jp/news/?p=8253>

日時：平成28年2月3日(水)

午前10時～午後4時(受付9:30から)

場所：群馬県片品村 花の駅「花咲の湯」

参加費：1,000円(昼食・温泉・テキスト代)

※現地までの交通費は各自負担です。

お問い合わせ・お申込み先：

片品村社会福祉協議会

TEL:0278-58-4812

メール:mail@katashina.jp

上尾窓口：ReVA(リーバ)

市川さん TEL:080-6781-0311



編集後記

◆明けましておめでとうございます。申年の今年、他人の欠点や過ちを見ない、聞かない、言わないといった戒めの意味もある「三猿」ですが、こと市民活動に関しては、社会をよく見て、色々な意見をよく聞いて、人と関わって議論していくことが大切ですね。(善)(敏)(枝)(明)

皆さまからのイベント、ボランティア情報をお待ちしています！

◎編集・発行 上尾市市民活動支援センター

開館日：火～日 午前9時～午後9時(日曜は午後5時迄)

休館日：毎週月曜、土・日を除く祝日、年末年始

電話：048(778)1810 FAX:048(778)1820

Eメール：s53500@city.ageo.lg.jp

ホームページ：<http://www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s53500/>



【案内図】



情報誌タイトル「むすびん」は、「結ぶ」と「お便り」を合わせており、人、市民活動団体、市などを結びつきたいという思いを込めています。